

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。

※未払配当金のみ、みずほ銀行本店および全国各支店でもお取扱いいたします。

- 公告方法 電子公告 (<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### ●上場株式配当等の支払に関する通知書について

お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成26年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成26年の確定申告の添付書類としてご使用になる支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式  
会社 **△サシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号  
TEL.03-3546-7711  
<http://www.musashinet.co.jp/>

証券コード:7521



## Financial Report 2013

株式  
会社 **△サシ**  
第92期 年次報告書  
2012年4月1日～2013年3月31日



企業理念

私たちは  
人とシステムの  
創造と調和を実現し、  
健全で信頼される企業を  
目指し続けます。

事業ドメイン

SYSTEM CREATION COMPANY

— 価値創造企業 —



代表取締役社長  
羽鳥雅孝

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2013年6月27日に開催された第92期定時株主総会後の取締役会において、私、羽鳥雅孝が代表取締役社長に選任され就任いたしました。

ここに第92期年次報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

■ 業績の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、震災の復興需要等により下支えされ底堅く推移したほか、昨年末に発足した新政権による経済対策への期待感から、円高の是正と株高が進み景況感の改善が見られました。しかしながら、国内の実体経済に勢いは見られず、海外においても、長引く欧州の債務問題や新興国経済の減速傾向に変化がないため、依然として景気の先行きは予断を許さない状況が続きました。

このような状況のもと当社グループでは、情報のデジタル化業務の受注や印刷機材の拡販に注力する一方、貨幣処理機器やセキュリティ機器、並びに昨年12月に実施された衆議院選挙向け機材の販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結売上高は378億56百万円(前期比0.7%減)、営業利益は16億3百万円

To Our Shareholders

(前期比101.7%増)、経常利益は17億98百万円(前期比102.0%増)、当期純利益は8億1百万円(前期比106.4%増)となりました。

■ 対処すべき課題

新政権による諸政策の実行と成果への期待は高まっていますが、当社を取り巻く厳しい環境はしばらく続くことと認識しています。このような状況で事業の持続的発展を目指すため、目標の達成に向かって粘り強く堅実に取り組み、着実に前進していきたいと考えております。

各事業における対処すべき課題は以下の通りです。

情報のデジタル化事業

官公庁・自治体を中心とする大型案件の受注に注力するとともに、自治体における公文書のアーカイブ化サービスを強化し、アウトソーシング事業の拡大に取り組んでまいります。

### 印刷システム機材

オフセット印刷市場においてはCTPセッターの更新需要の促進と環境配慮型の印刷材料の普及に注力し、オンデマンド印刷市場においては小ロット多品種化ニーズに対応するため、POD機器や自社開発のシステム商材の拡販に取り組んでまいります。一方、ワイドフォーマットプリンターの拡販にも注力し事業領域の拡大を図ってまいります。

### 金融汎用システム機材

貨幣処理機など既設機器の更新需要は低迷状態が続くと予想されるため、顧客の営業戦略上の課題に対応する機器や事務リスク低減に関わる機器・システムの開発とソリューション提案に注力してまいります。

### 選挙システム機材

国政選挙の有無にかかわらず安定した業績を確保するため、選挙業務管理ソフトの拡販に注力してまいります。

### 紙・紙加工品

出版の電子化などによる紙需要のさらなる減少に備え新たな市場開拓を促進するため、競争力のある高付加価値商品の開発と拡販に取り組んでまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

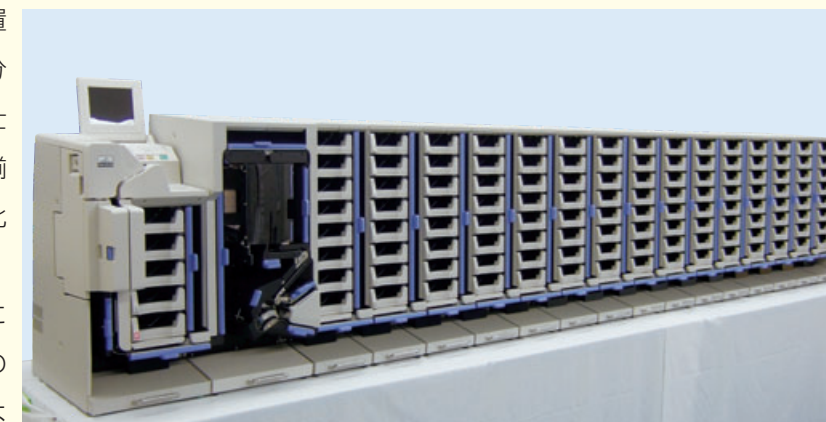
2013年6月

### 参議院選挙向け新製品を発売

7月の参議院選挙に向けて、投票用紙を候補者別に仕分ける投票用紙読取分類機のオプション装置として、投票用紙の向きを揃える装置『天地表裏反転ユニット』を発売しました。この装置を分類機本体に接続すれば、毎分660票のスピードで投票用紙を仕分けると同時に、用紙の向きまで揃えるため、開票業務の大幅な効率化が実現します。

また、候補者の多い参議院選挙に対応し、分類棚の数を業界最多の125段まで増やすことが出来るよ

う改良しました。これら新しい機能により、開票時間の短縮と作業者の減員効果による費用削減を全国の自治体に提案してまいります。



天地表裏反転ユニットを接続した投票用紙読取分類機「テラックCRS-VA」

### 単元株式数を変更しました

投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と個人投資家層の拡大を図るため、2013年4月1日をもって単元株式数を500

株から100株に変更いたしました。これにより、株式市場における当社株式の売買は100株単位になりました。

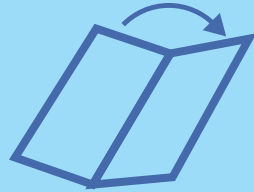
# 開票作業の流れとムサシのサポート領域

当社は、長年の経験と実績に基づく豊富なノウハウで、選挙事務を総合的にサポートし、業務の効率化によるコスト削減に貢献しています。

開票作業の流れ

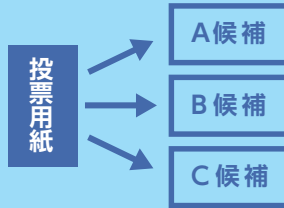
## 〈ムサシの技術 1〉

### 「ひらく」



## 〈ムサシの技術 2〉

### 「分ける」



## 〈ムサシの技術 3〉

### 「数える」



ムサシのサポート

#### ● 開く

折りたたまれ投票箱に投入された用紙が瞬時に開きます。製紙メーカーと共同開発した特殊な素材によって面倒な作業を省きます。



自然に開く投票用紙

#### ● 仕分ける

投票用紙に書かれた手書き文字（漢字・ひらがな・カタカナ）を毎分660票の高速で読み取り、候補者別に正確に分類します。



投票用紙読取分類機

#### ● 点検する

分類された投票用紙が、同一候補の有効票であることを人間の目で確認します。



#### ● 計数する

候補者別の投票用紙を毎分1500票の超高速で計数し、100票ごとに束を作ります。



投票用紙計数機

#### ● 集計する

100票の束毎に付けたバーコードを読み取り、候補者別の得票数を自動集計します。数え間違いを防止し、正確で迅速な開票集計を実現します。



開票集計システム



## 情報・印刷・産業システム機材

### 当期の概況

●売上高

**244億93百万円**

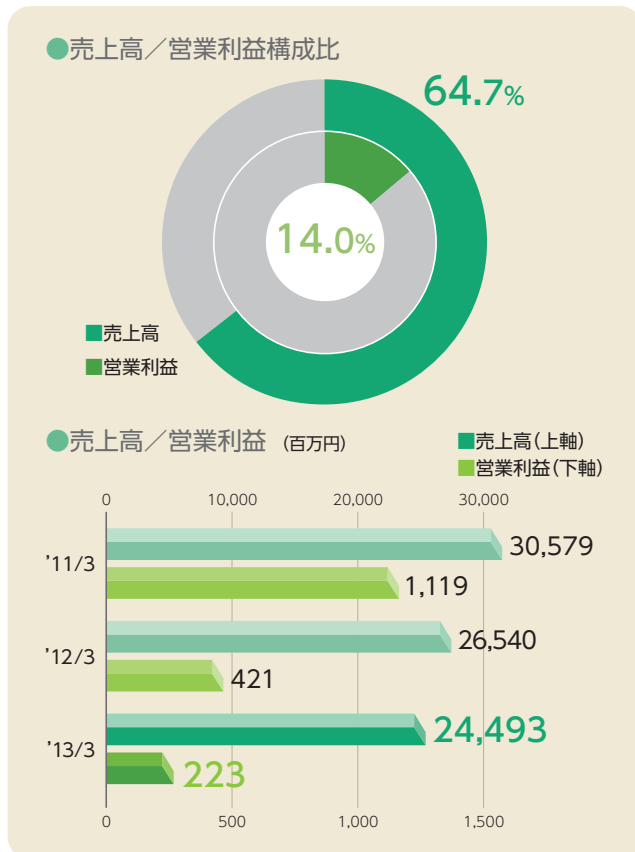
●営業利益

**2億23百万円**

情報・産業システム機材は、文書のデジタル化業務の受注が官公庁の予算執行の遅れや予算の縮小により落ち込んだほか、民間企業の投資抑制によりスキャナーなどドキュメントの電子化システムの販売も減少し前年実績を下回りました。

印刷システム機材は、広告宣伝費の削減や印刷需要の減少傾向が続き、デジタル印刷機器・材料の販売とも低調に推移したため、前年実績を若干下回りました。

以上の結果、売上高は244億93百万円(前期比7.7%減)、営業利益は2億23百万円(前期比46.9%減)となりました。



## 金融汎用・選挙システム機材

### 当期の概況

●売上高

**67億36百万円**

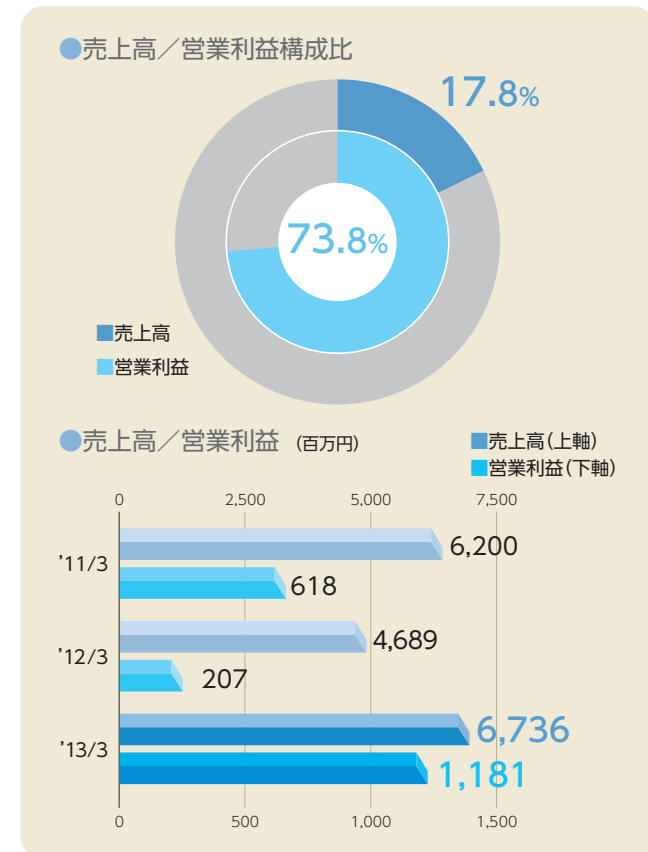
●営業利益

**11億81百万円**

金融汎用システム機材は、一部のセキュリティ機器の販売に伸長が見られたものの、顧客の予算執行の延期などにより貨幣処理システムや流通市場向け精算システムの販売が低迷し前年実績を下回りました。

選挙システム機材は、昨年12月に衆議院選挙が実施されたため、投票用紙読取分類機や交付機などの機器をはじめ各商品の販売が全般的に好調に推移し、前年実績を大幅に上回りました。

以上の結果、売上高は67億36百万円(前期比43.7%増)となり、営業利益は11億81百万円(前期比469.6%増)となりました。



紙・紙加工品

当期の概況

●売上高  
**64億4百万円**  
 ●営業利益  
**26百万円**

紙・紙加工品は、感光材料用の特殊包装紙や高級紙器用板紙などの高付加価値商品の販売は伸長しましたが、広告宣伝需要の低迷と安価な輸入紙の流入による市況悪化の影響で主力である印刷用紙の販売が低調に推移しました。

この結果、売上高は64億4百万円(前期比4.0%減)と前年実績を若干下回りましたが利益率が改善したため、営業利益は26百万円(前期は営業利益1百万円)となりました。

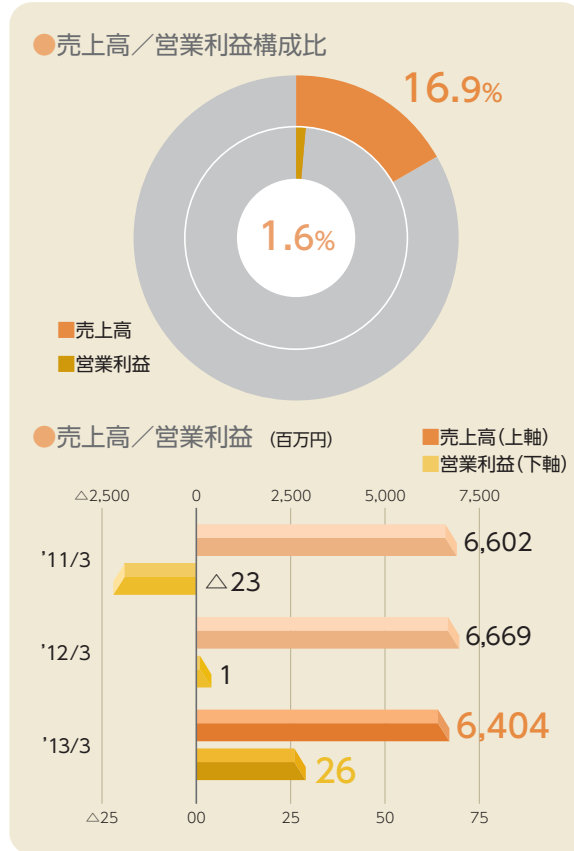
その他

当期の概況

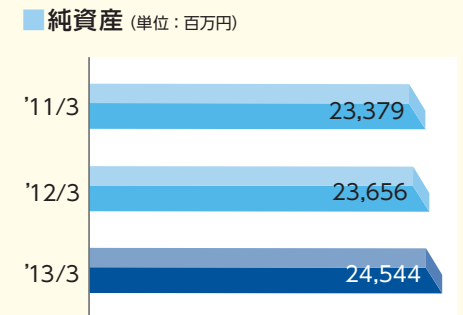
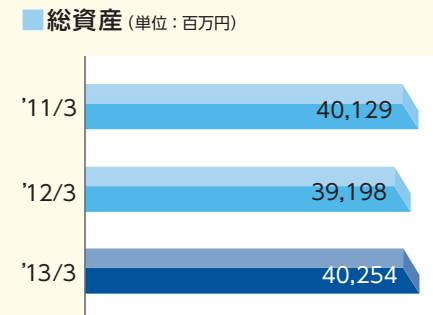
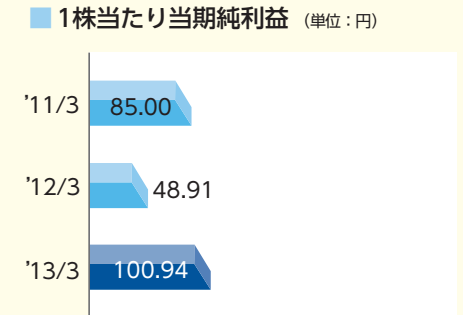
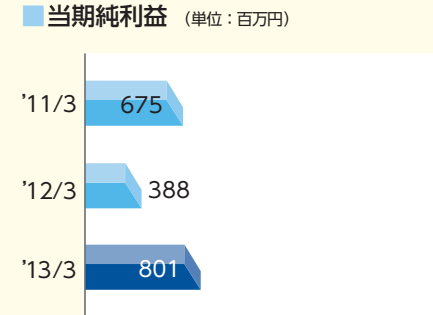
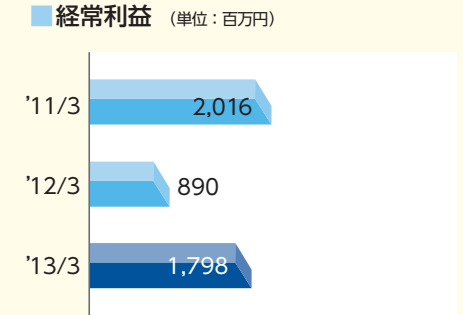
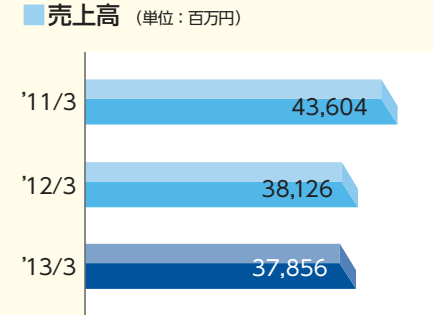
●売上高  
**4億83百万円**  
 ●営業利益  
**1億68百万円**

その他のセグメントである不動産賃貸業、リース、損害保険代理業の売上高は4億83百万円(前期比1.9%減)、営業利益は1億68百万円(前期比5.0%増)となりました。

Sales Activities



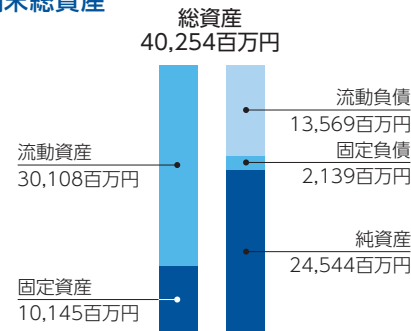
Financial Highlights



連結貸借対照表

科目	第 92 期 2013年3月31日現在	第 91 期 2012年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	16,935	14,343
受取手形及び売掛金	10,436	11,388
商品及び製品	1,394	1,509
仕掛品	55	79
原材料及び貯蔵品	578	288
その他	736	1,123
貸倒引当金	△ 28	△ 48
<b>① 流動資産合計</b>	<b>30,108</b>	<b>28,683</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	1,111	1,115
土地	1,991	2,238
その他	427	429
<b>有形固定資産合計</b>	<b>3,529</b>	<b>3,782</b>
<b>無形固定資産</b>		
投資その他の資産	97	136
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,673	1,361
差入保証金	2,567	2,566
その他	2,344	2,733
貸倒引当金	△ 67	△ 66
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>6,518</b>	<b>6,595</b>
<b>② 固定資産合計</b>	<b>10,145</b>	<b>10,514</b>
<b>資産合計</b>	<b>40,254</b>	<b>39,198</b>

■ 当期末総資産



(単位:百万円未満切捨て)

科目	第 92 期 2013年3月31日現在	第 91 期 2012年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	8,225	8,359
短期借入金	3,512	3,532
未払法人税等	459	47
賞与引当金	386	406
その他	986	1,007
<b>③ 流動負債合計</b>	<b>13,569</b>	<b>13,352</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	201	211
役員退職慰労引当金	934	863
その他	1,003	1,114
<b>④ 固定負債合計</b>	<b>2,139</b>	<b>2,189</b>
<b>負債合計</b>	<b>15,709</b>	<b>15,542</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	21,061	20,418
自己株式	△ 8	△ 8
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>278</b>	<b>32</b>
その他有価証券評価差額金	278	32
<b>⑤ 純資産合計</b>	<b>24,544</b>	<b>23,656</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>40,254</b>	<b>39,198</b>

■ ポイント

(資産)

- 流動資産における増加の主な要因は、現金及び預金の増加(25億92百万円)、減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(9億52百万円)及び有価証券の減少(2億99百万円)であります。
- 固定資産における減少の主な要因は、減損損失による土地の減少(2億47百万円)、繰延税金資産の減少(62百万円)及び投資その他の資産の「その他」の減少(2億95百万円)、増加の主な要因は、投資有価証券の増加(3億11百万円)であります。

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	第 92 期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	第 91 期 2011年4月1日～ 2012年3月31日
<b>売上高</b>	<b>37,856</b>	<b>38,126</b>
売上原価	29,736	30,675
売上総利益	8,119	7,450
販売費及び一般管理費	6,516	6,655
<b>営業利益</b>	<b>1,603</b>	<b>795</b>
営業外収益	267	165
営業外費用	72	69
<b>経常利益</b>	<b>1,798</b>	<b>890</b>
特別利益	1	22
特別損失	301	45
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,498</b>	<b>867</b>
法人税、住民税及び事業税	615	315
法人税等調整額	81	162
少数株主損益調整前当期純利益	801	388
<b>当期純利益</b>	<b>801</b>	<b>388</b>

(負債)

- 流動負債における増加の主な要因は、未払法人税等の増加(4億12百万円)、減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(1億34百万円)であります。
  - 固定負債における減少の主な要因は、固定負債の「その他」の減少(2億89百万円)、増加の主な要因は、繰延税金負債の増加(1億78百万円)であります。
- (純資産)
- 増加の要因は、当期純利益8億1百万円の計上と剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少(1億58百万円)及びその他有価証券評価差額金の増加(2億45百万円)であります。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	第 92 期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	第 91 期 2011年4月1日～ 2012年3月31日
<b>⑥ 営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>2,508</b>	<b>1,052</b>
<b>⑦ 投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 570</b>	<b>△ 337</b>
<b>⑧ 財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 182</b>	<b>△ 192</b>
現金及び現金同等物に 係る換算差額	6	△ 1
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,762	521
現金及び現金同等物の 期首残高	14,483	13,961
現金及び現金同等物の 期末残高	16,245	14,483

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

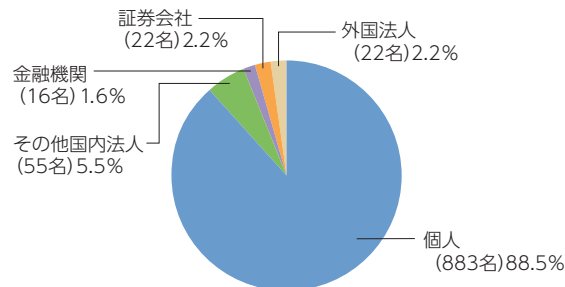
- 税金等調整前当期純利益14億98百万円、減価償却費3億55百万円、売上債権の減少9億49百万円、減損損失2億47百万円等の収入要因がありましたが、たな卸資産の増加1億50百万円、仕入債務の減少1億34百万円、法人税等の支払79百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。
- (投資活動によるキャッシュ・フロー)
- 定期預金の預入5億30百万円、有形固定資産の取得による支出3億1百万円等の支出要因がありましたが、投資活動によるその他の収入1億46百万円等により相殺されたことによるものであります。
- (財務活動によるキャッシュ・フロー)
- 主に配当金の支払1億58百万円によるものであります。

- 発行可能株式総数 ..... 28,920,000株
- 発行済株式の総数 ..... 7,950,000株
- 株主数 ..... 998名
- 大株主

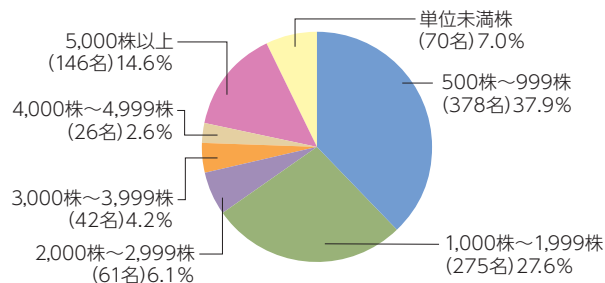
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,488 千株	18.7 %
ショウリン商事株式会社	1,197	15.1
ムサシ社員持株会	538	6.8
株式会社みずほ銀行	360	4.5
ムサシ互助会	299	3.8
小林厚一	237	3.0
羽鳥雅孝	237	3.0
株式会社三井住友銀行	190	2.4

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株式の所有者別状況(株主数)



株式の所有株数別状況(株主数)



<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページでは、事業紹介やIR情報、商品情報、最新ニュースなどの情報を掲載しております。特に「IR情報」では、決算発表資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



トップページ

新着情報をはじめ、企業情報、IR情報、事業紹介映像など様々な情報をタイムリーに発信しています。



IR情報ページ

最新のIRニュースをはじめ、業績や経営指標の推移がグラフで一覧できる業績ハイライト等を掲載しています。



IR資料

過去から直近までの豊富なIRデータや、個人投資家向け資料などを掲載しています。

商号 株式会社ムサシ  
 設立 1946年12月  
 本社 東京都中央区銀座八丁目20番36号  
 資本金 1,208,500,000円  
 従業員数 連結549名/単体266名(2013年3月末現在)  
 主要取引銀行 株式会社みずほ銀行  
 株式会社三井住友銀行  
 株式会社三菱東京UFJ銀行  
 関係会社 ムサシ・フィールド・サポート(株)  
 武蔵エンジニアリング(株)  
 (株)ムサシ・イービーシー  
 ムサシ・イメージ情報(株)  
 ムサシ・アイ・テクノ(株)  
 エフ・ビー・エム(株)  
 武蔵興産(株)  
 (株)武蔵エンタープライズ  
 (株)ジェイ・アイ・エム

役員  
 取締役名誉会長 都木 恒夫  
 代表取締役会長 小林 厚一  
 代表取締役社長 羽鳥 雅孝  
 常務取締役 青坂 修司  
 常務取締役 佐々木 淳  
 取締役 村田 進  
 取締役 山村 隆  
 取締役 吉川 伸一  
 取締役 浅川 正仁  
 取締役 新妻 一俊  
 常勤監査役 中川 裕務  
 常勤監査役 桑原 弘順  
 社外監査役 安藤 信彦  
 社外監査役 浅野 修一

- 事業所
- 本社  
東京第一支店/東京第二支店  
紙・紙加工営業部/海外営業部  
東京都中央区銀座八丁目20番36号
  - 札幌支店  
札幌市北区北十二条西三丁目1番15号(N12ビル)
  - 仙台支店  
仙台市青葉区錦町一丁目10番11号(新平和ビル)
  - 北関東支店  
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地(JA共済埼玉ビル)
  - 東関東支店  
千葉市中央区新町18番地10(千葉第一生命ビルディング)
  - 神静支店  
横浜市西区北幸二丁目8番4号(横浜西口KNビル)
  - 名古屋支店  
名古屋市中区村名駅二丁目35番22号(メビウス名古屋)
  - 大阪支店  
東大阪市長田中三丁目6番1号
  - 中四国支店  
広島市中区本川町二丁目6番11号(第7ウエノヤビル)
  - 福岡支店  
福岡市博多区店屋町6番25号(オクターブ店屋町ビル)
  - 新潟営業所
  - 茨城営業所
  - 静岡営業所
  - 浜松営業所
  - 北陸営業所
  - 岡山営業所
  - 高松営業所

